

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 12 ） 学校名 豊田市立矢並小学校

1 テーマ

郷土を愛し、郷土に貢献する児童の育成

－矢並・恩真寺湿地学習と保全活動、地域に誇りをもつクラブ活動－

2 ねらい

児童が総合的な学習の時間や生活科で、ラムサール条約に登録された矢並湿地について調べたり、郷土の偉人鈴木正三について学んだりする中で、郷土を愛する気持ちを育む。また、地域の方と一緒に取り組む矢並湿地保全活動を通じて、学校・保護者・地域が協力して、郷土を愛し、郷土に貢献する矢並っ子の育成を目指す。

クラブ活動時に、地域に伝わる郷土芸能や伝統文化などを、地域ボランティアから学ぶことにより、矢並地区を見直す機会とし、守っていこうとする心を育てる。

3 活動内容

- ① 3～6年の総合的な学習の時間に、矢並湿地や鈴木正三について総合単元的なカリキュラムを組み行う。
- ② 1・2年の生活科で、町探検の一環として矢並湿地を観察し、地域の宝を知る。
- ③ 自然観察の森レンジャーを講師とし、湿地についての学習を深め、学んだことを豊田市の矢並湿地一般公開日などで、保護者や地域の方に伝える。
- ④ 矢並湿地保存会の方や保護者とともに、湿地の保全活動を行う。
- ⑤ クラブ活動日に、地域ボランティアを講師とし、郷土芸能や伝統文化などについての学びを深める。
- ⑥ 学校ホームページに活動内容を紹介し、保護者や地域に発信する。

4 成果と課題

(成果)

矢並湿地に何度も行き、矢並湿地にしか生息していない生き物や植物について理解を深め、児童は「ここはすごいところなんだ。」「私たちも守っていこう。」と改めて地域の宝の存在を認識し、自分たちで守ろうという意識を高めることができた。

また、豊田市の矢並湿地一般公開日には、今年度も子どもおもしろナビとして参加し、保護者や地域の方、県内外の方などを相手に自分たちが学んできたことや、湿地を守ってほしいということと呼びかけた。「子ども目線のナビがとてもおもしろい。」「これを楽しみで来た。」などの声を多数いただいた。

また、クラブ活動を今年度8回行った。郷土芸能である棒の手や、伝統文化のお茶、矢並地区に生息する鳥の観察等、様々な分野でプロである地域講師に教えていただき、保護者からも「上手になった。」「地域講師がありがたい。」という言葉を送った。また、棒の手は、地域のお祭りにも参加し、地域の方からも「子どもたちが引き継いでいってくれてうれしい。」との言葉をいただいた。

(課題)

- ・ 矢並湿地は普段は入れない特別な場所であり、学校だけでは成り立たず、自然観察の森の方に協力していただいている。そのため、綿密な打ち合わせが何度も必要である。
- ・ 今後、児童数が減ることにより、同様の活動が難しくなってくる。そのため、存続するために発表の仕方など工夫が必要である。
- ・ 地域ボランティアが、だんだん高齢化してきているため、新たな人材の発掘が必要である。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ 学校ホームページをクラブ活動日や湿地学習日に更新し取組を紹介した。(クラブ7回、湿地学習20回、計27回)
- ・ 学校だよりや学年だよりで、矢並湿地での取組を全学年湿地学習日ごとに紹介した。
- ・ 授業参観や矢並湿地一般公開日に、5・6年生が、保護者や地域の方、県内外からみえた方などを対象にガイドを行った。